

【質疑応答】 アンケート用紙に記載していただいた分も含まれています

①細やかな情報共有に力を入れている様子が伝わってきますが、なにか特別なツールなど使用しているか。

⇒電話等で確実に伝えるようにしています。また毎月報告書等を作成し送付しています。主治医からの依頼があればMCS（メディカルケアステーション）に参加しているケースもあります。

*MCSとは病院・薬局・介護施設向けの無料非公開型医療介護専用SNSで、地域包括ケアの連携ツールとして活用されています。

②専門のリハビリはないのはわかった。日常生活動作を維持するための何か工夫や取り組みはされているのか。していたら知りたい

⇒残存機能をできる限り維持していくようにできることは自分から取り組めるように個別で声掛けや対応をしています。指を動かせる方は塗り絵やちぎり絵等、トイレに一部介助で行ける方はその動作がスムーズに定着できるように個別で対応をしています。ベッドはあくまで休息の時に確実に使用できるように準備してあるもので、寝たまま過ごす方ばかりではありません。離床時間なども体調や希望で対応しています。

③排便コントロールの必要な方の対応は受け入れているか

⇒1日の受け入れ人数は決まっています。現在満員のため、希望の方には空き次第案内しています。ただし、療養通所のみで排便コントロールをするケースは受けておりません。必ず訪問看護事業所と連携する形をとっています。

④食事介助や形態の選び方などはどうしているのか。工夫している事はあるか

⇒主治医やリハビリ職からの指定がない場合は、ご家庭で過ごされている形状から開始します。その後、食事摂取状況の評価などを踏まえ、主治医、ご家庭と相談して変更していくようにしています。献立によっては食べにくい物もあるため、カットしたり、別添でトロミを準備していつでも安全に食べやすく楽しんでいただくよう毎食工夫しています。

⑤利用時間の延長を希望されている家族もいると思うが、延長対応は今後ありうるのか？

⇒以前は、明確に「療養通所の利用者は8時間以上利用できる状態像の方を想定していない」ため、延長は認められない（料金を設定すること含めて）と定められておりました。現在そういった明記は確認できないものの、ご利用されている方々の状態としては大きく変わってはおりません。今後こういった形で延長が可能かどうかは熟考させていただきたいと思っています。

⑥利用希望者で受け入れが難しい方はいるかどうか。それはどういう理由で難しいと判断されているか

⇒お断りしたケースは1.送迎範囲外 2.主治医の許可が降りなかったもの以外はありません。ただし、次の理由でお断りされるケースはありました。

- ・利用したい回数、時間が合わない
- ・毎回入浴をさせたい
- ・エレベータの無い戸建て、集合住宅の2階以上から降ろして連れて行って欲しい

⑦利用に至らなかった事例など知りたかった

⇒次年度契約後に利用に至らなかったケース等ご紹介したいと思います。

⑧利用する時に準備するもの等を知りたい

⇒ご利用の契約時に持ち物の一覧表を個別で作成し、お渡ししております。お問い合わせいただければ事前にひな型をお渡しも可能です。また、HPにも記載しておりますが在宅酸素、吸引器は持ち込みとなります。

⑨他にどんなサービスを併用されている方が多いのか

⇒事例紹介にも記載させていただきましたが、訪問診療、訪問看護は基本利用されています。

その他は福祉用具（リフト含む）、訪問介護、訪問リハビリ、デイケア、デイサービス、定期巡回、ショートステイサービス（介護サービス）、レスパイト入院（医療機関）が多い印象です。すべての事業所と情報共有し、連絡を取り合うようにしております。

⑧食事の内容が知りたい（一部ですが、HPの記事一覧で【療養通所】2月の献立紹介を掲載しております）

⇒対応できる形態や種類は多く取り揃えております。次年度ご紹介できるようにしていきます。

⑨災害時の地域との連携について、災害時の対応など知りたい

⇒BCP（業務継続計画）のマニュアルに沿って対応します。毎年研修と訓練を行っています。

⑩回復期リハビリ病院の相談等は受けてもらえるのか

⇒病院の相談員、医療ソーシャルワーカーにおつなぎすることは可能です。

【感想、意見】

- ・地域の人たちに運営推進のあり方をもっと広く内容を説明したいと思います。
- ・事例紹介もしていただき内容が分かり良かった。もう少しゆっくり話してもらえると普段接することの無い内容なので理解ができたように思った。
- ・利用者は比較的介護度が重く、在宅での介護は家族の負担が多いと思う。それでも家族は利用者と一緒に生活していきたいと言う想いで日々がんばっていると思う。療養通所の存在価値は高く大切。寄り添って続けて下さい。応援しています。
- ・この仕事を始めて療養通所を知り、会議に参加して中身を知ることができた。
- ・施設の見学がしてみたかった
- ・アンケートの結果はわかりやすく理解できた。
- ・ケアマネジャーへのアンケートをとっていてとてもケアマネジャーへの思いが分かった。意見交換は地域の方々も参加され、視野が広がった。
- ・非常に理解しやすい資料と説明だった。利用者の方以外にも自分の家族に必要な時は是非お願いしたいと感じる内容だった。地域に療養通所があるのは心強い
- ・大変わかりやすかったと思う。事業所、スタッフそのものが地域の資源なので、地域の方々に活用していただけるようがんばってください
- ・センターの概要が分かり、療養通所介護のポジションが見えた気がした。最初に概要を説明してもらえたらより良かったと思う
- ・担当している方が利用している。何かあればすぐに連絡いただけてとても心強い。職員が使命を持って運営に取り組んでいるのがとてもありがたい。